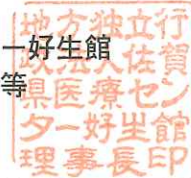


都道府県知事 殿

住 所 佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地  
申請者 地方独立行政法人  
佐賀県医療センター好生館  
氏 名 理事長 橋本 等



地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館の地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和5年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地
氏名	地方独立行政法人 佐賀県医療センター 好生館

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館
-----------------------

3 所在の場所

〒840-8571 佐賀県佐賀市嘉瀬町中原400番地 電話 (0952) 24-2171
--

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	8床	床	床	442床	450床



## 5 施設の構造設備

施設名	設備概要
集中治療室	(主な設備) 病床数 8 床
化学検査室	(主な設備) 生化学自動分析装置、全自動化学発光免疫測定装置
細菌検査室	(主な設備) 微生物同定分析装置、自動遺伝子解析装置
病理検査室	(主な設備) 密閉式自動固定包埋装置、自動染色装置
病理解剖室	(主な設備) 感染防止対策解剖台、遺体保管用冷蔵庫、換気浄化システム
研究室	(主な設備) 細胞培養装置・分析装置(炭酸ガスインキュベーター、蛍光顕微鏡等) 遺伝子増幅・解析装置(リアルタイムPCR検査装置等)
講義室	室数 9 室                      収容定員 300 人
図書室	室数 1 室                      蔵書数 1,500 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	(主な設備)                      除細動器、超音波画像診断装置等 保有台数 1 台
医薬品情報管理室	[専用室の場合]                      床面積 38.72 m <sup>2</sup> [共用室の場合]                      ○○室と共用

(注) 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器等を記入すること。

(様式例第12) 他の病院又は診療所から紹介された患者に対し医療を提供する体制が整備されていることを証する書類及び救急医療の提供実績

1. 地域医療支援病院紹介率及び地域医療支援病院逆紹介率

地域医療支援病院紹介率	96.8%	算定期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
地域医療支援病院逆紹介率	157.6%		
算出根拠	A：紹介患者の数		12,617人
	B：初診患者の数		13,038人
	C：逆紹介患者の数		20,548人

(注) 1 「地域医療支援病院紹介率」欄は、AをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 「地域医療支援病院逆紹介率」欄は、CをBで除した数に100を乗じて、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 3 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

(様式例第13) 救急医療を提供する能力を有することを証する書類

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
1	医師	岩村 高志	常勤 専従	38.75	
2	医師	小山 敬	常勤 専従	38.75	
3	医師	松本 康	常勤 専従	38.75	
4	医師	甘利 香織	常勤 専従	38.75	
5	医師	朝日 美穂	常勤 専従	38.75	
6	医師	龍 知歩	常勤 専従	38.75	
7	医師	佐々木 彰	常勤 専従	38.75	
8	医師	三溝 慎次	常勤 非専従	38.75	
9	医師	吉富 有哉	常勤 非専従	38.75	
10	医師	前 隆男	常勤 非専従	38.75	
11	医師	林田 光正	常勤 非専従	38.75	
12	医師	小宮 紀宏	常勤 非専従	38.75	
13	医師	塚本 伸章	常勤 非専従	38.75	
14	医師	松下 優	常勤 非専従	38.75	
15	医師	馬場 覚	常勤 非専従	38.75	
16	医師	平林 健一	常勤 非専従	38.75	
17	医師	木村 太一	常勤 非専従	38.75	
18	医師	小川 宗一郎	常勤 非専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
19	医師	田代 勇人	常勤 非専従	38.75	
20	医師	酒井 鴻	常勤 非専従	38.75	
21	医師	佐々木 貴之	常勤 非専従	38.75	
22	医師	原田 慶美	常勤 非専従	38.75	
23	医師	松本 健一	常勤 非専従	38.75	
24	医師	井戸 啓介	常勤 非専従	38.75	
25	医師	檜垣 梨央	常勤 非専従	38.75	
26	医師	柳田 暢志	常勤 非専従	38.75	
27	医師	高島 洋	常勤 非専従	38.75	
28	医師	江里口 誠	常勤 非専従	38.75	
29	医師	川浪 健	常勤 非専従	38.75	
30	医師	後藤 悠太	常勤 非専従	38.75	
31	医師	盛満 真人	常勤 非専従	38.75	
32	医師	挽地 裕	常勤 非専従	38.75	
33	医師	吉田 敬規	常勤 非専従	38.75	
34	医師	櫻山 国宣	常勤 非専従	38.75	
35	医師	大坪 豊和	常勤 非専従	38.75	
36	医師	安心院 法樹	常勤 非専従	38.75	
37	医師	神下 耕平	常勤 非専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
38	医師	柿本 洋介	常勤 非専従	38.75	
39	医師	中島 史暁	常勤 非専従	38.75	
40	医師	野田 武志	常勤 非専従	38.75	
41	医師	里 学	常勤 非専従	38.75	
42	医師	三保 貴裕	常勤 非専従	38.75	
43	医師	牛草 淳	常勤 非専従	38.75	
44	医師	永島 聖恭	常勤 非専従	38.75	
45	医師	池田 貯	常勤 非専従	38.75	
46	医師	古賀 浩木	常勤 非専従	38.75	
47	医師	江川 紀幸	常勤 非専従	38.75	
48	医師	古賀 靖大	常勤 非専従	38.75	
49	医師	北川 浩	常勤 非専従	38.75	
50	医師	鶴 安浩	常勤 非専従	38.75	
51	医師	櫻井 良太	常勤 非専従	38.75	
52	医師	新藤 優里	常勤 非専従	38.75	
53	医師	古賀 風太	常勤 非専従	38.75	
54	医師	村山 賢一郎	常勤 非専従	38.75	
55	医師	野下 祥太郎	常勤 非専従	38.75	
56	医師	叶 晶嘉	常勤 非専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
57	医師	湯ノ谷 修三	常勤 非専従	38.75	
58	医師	富永 直之	常勤 非専従	38.75	
59	医師	朝長 道人	常勤 非専従	38.75	
60	医師	陣内 杏月	常勤 非専従	38.75	
61	医師	梅口 仁美	常勤 非専従	38.75	
62	医師	貞松 宏典	常勤 非専従	38.75	
63	医師	村田 大樹	常勤 非専従	38.75	
64	医師	光井 遥佑	常勤 専従	38.75	
65	看護師	寺田 恭巳子	常勤 非専従	38.75	
66	看護師	岡田 智美	常勤 専従	38.75	
67	看護師	西村 優理	常勤 専従	38.75	
68	看護師	佐藤 裕美	常勤 専従	38.75	
69	看護師	金丸 美里	常勤 専従	38.75	
70	看護師	竹尾 章宏	常勤 専従	38.75	
71	看護師	高祖 真里子	常勤 専従	38.75	
72	看護師	山田 満代	常勤 専従	38.75	
73	看護師	碓 友理子	常勤 専従	38.75	
74	看護師	松尾 瑞穂	常勤 専従	38.75	
75	看護師	本多 加奈	常勤 専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
76	看護師	坂本 麻美	常勤 専従	38.75	
77	看護師	糸山 真未	常勤 専従	38.75	
78	看護師	吉永 司	常勤 専従	38.75	
79	看護師	中村 浩美	常勤 専従	38.75	
80	看護師	江崎 哲史	常勤 専従	38.75	
81	看護師	池田 美樹	常勤 専従	38.75	
82	看護師	持永 雅文	常勤 専従	38.75	
83	看護師	尋木 礼	常勤 専従	38.75	
84	看護師	田中 里美	常勤 専従	38.75	
85	看護師	城野 真奈美	常勤 専従	38.75	
86	看護師	釜崎 静香	常勤 専従	38.75	
87	看護師	野崎 いのり	常勤 専従	38.75	
88	看護師	馬渡 修平	常勤 専従	38.75	
89	看護師	北川 誠也	常勤 専従	38.75	
90	看護師	山口 雅美	常勤 専従	38.75	
91	看護師	内田 陽一郎	常勤 専従	38.75	
92	看護師	大森 望千人	常勤 専従	38.75	
93	看護師	後藤 明日香	常勤 専従	38.75	
94	看護師	坂口 洋子	常勤 専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
95	看護師	東中尾 優希	常勤 専従	38.75	
96	看護師	浪口 彩	常勤 専従	38.75	
97	看護師	野中 知佳	常勤 専従	38.75	
98	看護師	小池 茉菜	常勤 専従	38.75	
99	看護師	安武 利恵	常勤 専従	38.75	
100	看護師	千綿 千里	常勤 専従	38.75	
101	看護師	篠原 莉子	常勤 専従	38.75	
102	看護師	野上 果歩	常勤 専従	38.75	
103	看護師	松崎 萌	常勤 専従	38.75	
104	看護師	西村 日菜子	常勤 専従	38.75	
105	看護師	小松 航太郎	常勤 専従	38.75	
106	看護師	野田 渚	常勤 専従	38.75	
107	看護師	野中 佑弥	常勤 専従	38.75	
108	看護師	喜多 穂実	常勤 専従	38.75	
109	看護師	田中 璃子	常勤 専従	38.75	
110	看護師	金武 由紗	常勤 専従	38.75	
111	看護師	石橋 亜夏里	常勤 専従	38.75	
112	看護師	平田 乃梨香	常勤 専従	38.75	
113	看護師	田代 陽菜	常勤 専従	38.75	

No.	職種	氏名	勤務の態様	勤務時間	備考
114	看護師	馬場 正樹	常勤 専従	38.75	
115	看護師	大藪 千豊	常勤 専従	38.75	
116	看護師	馬場 優香	常勤 専従	38.75	
117	看護師	田中 泰知	常勤 専従	38.75	
118	看護師	井上 美沙紀	常勤 専従	38.75	
119	看護師	山内 瑞季	常勤 専従	38.75	
120	看護師	大場 菜緒子	常勤 専従	38.75	
121	看護師	尾形 晃基	常勤 専従	38.75	
122	看護師	篠原 遥海	常勤 専従	38.75	
123	看護師	石橋 香穂	常勤 専従	38.75	

## 2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	24床
専用病床	床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

## 3 重症救急患者に必要な検査、治療を行うために必要な診療施設の概要

施設名	床面積	設備概要	24時間使用の可否
救命救急センター	1012.21㎡	(主な設備) 人工呼吸装置・救急蘇生装置等	可
放射線科	965.69㎡	(主な設備) CT、MRI、血管造影等	可
検査部	622.63㎡	(主な設備) 生化学検査、多項目自動血液分析装置	可

4 備考

救急告示病院  
 第1種感染症指定医療機関  
 第2種感染症指定医療機関  
 救命救急センター

(注) 特定の診療科において、重症救急患者の受入体制を確保する場合には、その旨を記載すること。

既に、救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令第8号）に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院、救急医療対策の設備事業について（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあっては、その旨を記載すること。

5 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	3,801人 ( 2,491人)
上記以外の救急患者の数	7,056人 ( 1,193人)
合計	10,857人 ( 3,684人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

6 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

(様式例第14) 地域医療従事者による診療、研究又は研修のための利用（共同利用）のための体制が整備されていることを証する書類

1 共同利用の実績

・病床の共同利用	医療機関の延べ数 0施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 0施設
・医療機器	
CTの共同利用	医療機関の延べ数 138施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 138施設
MRIの共同利用	医療機関の延べ数 168施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 168施設
RIの共同利用	医療機関の延べ数 9施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 9施設
合計	医療機関の延べ数 315施設 うち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数 315施設
共同利用に係る病床の病床利用率	0.0%

(注) 前年度において共同利用を行った実績がある場合において、当該前年度の共同利用を行った医療機関の延べ数、これらの医療機関のうち開設者と直接関係のない医療機関の延べ数、共同利用に係る病床の病床利用率を明記すること。

2 共同利用の範囲等

建物【本館】放射線科部門 病床(3階西、4階東、4階西、5階東、5階西、6階東、6階西、7階東、7階西 8階東病棟 各1床) 【研修棟】地域医療研修室
設備【超電導磁気共鳴診断装置(MRI)】株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン Ingenia Ambition 1.5T / SmartPath to Ingenia Elition X 3.0T 【核医学装置用検出器回転型SPECT装置(RI)】シーメンスヘルスケア Symbia Pro Specta Q3 【全身用CT装置】キヤノンメディカルシステムズ Aquilion Prime SP(80列)/Aquilion One SPECTRAL(80列)/Aquilion ONE(320列)

(注) 当該病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象とする予定のものを明記すること。

3 共同利用の体制

- ア 共同利用に関する規定の有無  有 ・ 無  
イ 利用医師等登録制度の担当者 氏名：本告 信博  
  職 種：係長

(注) 共同利用に関する規定が有る場合には、当該規定の写しを添付すること。

4 登録医療機関の名簿

医療機関名	開設者名	住 所	主たる診療科名	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
		別添1		

注 当該病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

(様式例第15) 地域医療従事者の資質の向上を図るための研修を行わせる能力を有することの証明

1 研修の内容

別添 2
------

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	22回
(2) (1) の合計研修者数	622人

(注) 1 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(注) 2 (2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

- ア 研修プログラムの有無 (有)・無
- イ 研修委員会設置の有無 (有)・無
- ウ 研修指導者

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
佐藤 清治	医師	消化器外科	館長	40年	
内藤 光三	医師	医療安全管理部	副館長／部長	38年	研修責任者
前 隆男	医師	整形外科	副館長／部長	31年	
相部 仁	医師	放射線科	副館長／部長	37年	
高島 洋	医師	脳卒中センター	センター長	38年	
松石 英城	医師	Medical-Link-Office	Medical-Link-Office Director	37年	
山内 健	医師	小児外科	部長	37年	
北原 賢二	医師	消化器病センター	センター長	37年	

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
西村 真二	医師	小児科	部長	35年	
福岡 麻美	医師	感染制御部	部長	35年	
緒方 伸一	医師	消化器内科	部長	34年	
田中 聡也	医師	消化器外科	部長	34年	
宮崎 純二	医師	耳鼻いんこう科	部長	34年	
里 学	医師	心臓血管外科	部長	31年	
中村 恵	医師	腎臓内科	部長	30年	
森 大輔	医師	病理部	部長	30年	
吉田 敬規	医師	循環器内科	部長	30年	
飯野 忠史	医師	血液内科	輸血部部長	29年	
吉村 達	医師	糖尿病代謝内科	部長	29年	
岩永 健太郎	医師	呼吸器内科	部長	29年	
三好 篤	医師	肝胆膵外科	部長	29年	
安永 牧生	医師	産婦人科	部長	29年	
佐々 由季生	医師	眼科	部長	28年	
諸隈 太	医師	泌尿器科	部長	28年	
岩村 高志	医師	救急科	部長	27年	
白羽根 健吾	医師	乳腺外科	部長	27年	
武田 雄二	医師	呼吸器外科	部長	27年	
松本 健一	医師	脳神経外科	部長	26年	
小杉 寿文	医師	緩和ケア科	部長	24年	
江里口 誠	医師	脳神経内科	部長	24年	
柏田 知美	医師	臨床腫瘍科	部長	23年	
永瀬 浩太郎	医師	皮膚科	部長	21年	
原田 慶美	医師	形成外科	部長	20年	
大座 紀子	医師	肝胆膵内科	部長	20年	
三浦 大介	医師	麻酔科	部長	18年	
原野 由美	医師	総合内科	部長	18年	
山之内 直也	医師	リハビリテーション科	部長	17年	
金井 督之	医師	産婦人科	医長	31年	
田口 匠平	医師	小児外科	医長	27年	
小山 敬	医師	救命救急センター	医長	25年	

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
塚本 伸章	医師	整形外科	医長	25年	
松本 康	医師	救急科	医長	24年	
古賀 靖大	医師	消化器外科	医長	24年	
前田 寿幸	医師	小児科	医長	22年	
久保田 未央	医師	呼吸器内科	医長	22年	
甘利 香織	医師	救急科	医長	22年	
柏木 英志	医師	泌尿器科	医療	21年	
冨永 直之	医師	消化器内科	医長	21年	
八並 直子	医師	産婦人科	医長	20年	
増田 正憲	医師	病理部	医長	20年	
梅口 仁美	医師	呼吸器内科	医長	19年	
吉富 有哉	医師	救急科	医長	19年	
角南 隆史	医師	精神科	医長	18年	
古賀 美佳	医師	緩和ケア科	医長	18年	
檉山 国宣	医師	循環器内科	医長	18年	
松本 圭一郎	医師	腎臓内科	医長	15年	
宮本 詩子	医師	呼吸器外科	医長	15年	
江川 紀幸	医師	消化器外科	医長	15年	
村山 賢一郎	医師	肝胆膵内科	医長	14年	
貞松 宏典	医師	呼吸器内科	医長	13年	
安心院 法樹	医師	循環器内科	医長	11年	
柿本 洋介	医師	循環器内科	医師	16年	
神下 耕平	医師	循環器内科	医師	15年	
平田 早苗	医師	腎臓内科	医師	14年	
川崎 祥平	医師	小児科	医師	14年	
岩永 晃	医師	小児科	医師	13年	
朝日 美穂	医師	救急科	医師	12年	
草場 真一郎	医師	麻酔科	医師	12年	
中林 結子	医師	小児科	医師	12年	
森永 智子	医師	麻酔科	医師	11年	
宮崎 俊一	医師	耳鼻いんこう科	医師	11年	
松永 拓也	医師	消化器内科	医師	10年	

研修指導者氏名	職種	診療科	役職等	臨床経験数	特記事項
野下 祥太郎	医師	肝胆膵内科	医員	8年	
藤田 尚宏	医師	総合教育研修センター	総合教育研修センター長	41年	

(注) 教育責任者については、特記事項欄にその旨を記載すること。

#### 4 研修実施のための施設及び設備の概要

施設名	床面積	設備概要
多目的ホール	204.65㎡	(主な設備) 音響設備、マイクロホン等
研修室 1	133.25㎡	(主な設備) プロジェクター等
研修室 3	76.14㎡	(主な設備) ホワイトボード等
研修室 4	152.28㎡	(主な設備) スクリーン、AV機器等
地域医療研修室	76.14㎡	(主な設備) ホワイトボード等

(様式例第16) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	館長 佐藤 清治		
管理担当者氏名	医事課長 医療情報部長 入退院支援センター長	今池 彰 (R5. 12. 5迄) 田中 聡也 三浦 大介	田中 佳奈 (R5. 12. 6～)

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		薬剤部  病院情報システム (各部門システム内)	処方箋  病院日誌、各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、X線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	放射線科 地域医療連携センター	
	救急医療の提供の実績	救命救急センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	地域医療連携センター	
	閲覧実績	医事課 医療情報部	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	地域医療連携センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式例第17) 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

閲覧責任者氏名	医療情報部長 田中 聡也、 医事課長 今池 彰 (R5. 12. 5迄) 田中 佳奈 (R5. 12. 6～)
閲覧担当者氏名	医療情報部長 田中 聡也、 医事課長 今池 彰 (R5. 12. 5迄) 田中 佳奈 (R5. 12. 6～)
閲覧の求めに応じる場所	医事課 佐賀県診療情報地域連携システムから閲覧
<p>閲覧の手続の概要</p> <p>医事課窓口にて、患者（運転免許証等で確認）もしくは患者家族（家族の場合は関係が分かる戸籍謄本、戸籍抄本にて確認）の申し出で閲覧に応じる。</p> <p>患者もしくは患者家族の同意（同意書をとる）後、佐賀県診療情報地域連携システムに繋ぐことで、閲覧できるようになる。</p>	

前年度の総閲覧件数		104,075 件
閲覧者別	医師	59,804 件
	歯科医師	14 件
	地方公共団体	1,319 件
	その他	42,938 件

(様式例第18) 委員会の開催の実績

委員会の開催回数	2回	
委員会における議論の概要		
<p>地域医療支援病院委員会 第1回：令和5年7月11日</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○インターネット予約（カルナコネクト）の普及について（その後）</li><li>○第11回全国ID-Link研究会主催について</li><li>○令和4年度 事業実績報告（令和4年4月～令和5年3月）</li><li>○令和4年度 地域医療研修報告（令和4年4月～令和5年3月）</li></ul> <p style="text-align: right;">※別紙添付</p> <p>地域医療支援病院委員会 第2回：令和6年2月6日</p> <p>&lt;報告事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○令和5年度 事業実績報告（令和5年4月～令和5年11月）</li><li>○令和5年度 地域医療研修報告（令和5年4月～令和5年11月）</li><li>○インターネット予約（カルナコネクト）の普及について（その後）</li></ul> <p style="text-align: right;">※別紙添付</p>		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談支援センター（一般相談支援センター）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	岩村 昌子、山口 可奈 馬場 早希、林 由紀 坂本 大輔、大石 喜美子
患者相談件数	7,372 件
患者相談の概要	
<p>《入院患者の退院支援》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ リハビリ、療養等を必要とする患者の転院調整</li><li>○ 施設入所を希望する患者の入所支援</li><li>○ 自宅退院に向けて、必要な地域資源を調整する在宅支援 (地域包括支援センターや居宅介護支援事業所との連携)</li></ul> <p>《医療・社会的な問題に対する相談》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 介護保険、障害福祉サービス等福祉制度の説明、手続き支援</li><li>○ 無保険、生活保護受給等経済的な問題に対する支援</li><li>○ 受診に手伝いが必要な方への受診支援</li><li>○ 復職、復学等生活面の支援</li><li>○ 家族疎遠、身元保証人不在などの家族関係の支援、調整（行政や警察など情報連携）</li><li>○ 傷病の受容や療養生活における不安に対する心理・社会的支援</li></ul> <p>《その他の支援》</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 外国人患者への受診、受療支援（医療通訳者の手配など）</li><li>○ 特定妊婦や要保護（要支援）児童等に係わる母子保健関連の支援</li><li>○ 性暴力・DV・虐待等被害者支援</li></ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19) 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談支援センター（がん相談支援センター）
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	専従：原田 健作（社会福祉士） 専従：辻田 亜衣（社会福祉士） 兼任：細川 萌（社会福祉士）
患者相談件数	がん相談総数：2,757 件 ・電話相談：1,617 件 ・面談相談：1,137 件 ・その他：3 件
患者相談の概要	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 外来患者の心理的・社会的・経済的な課題についての相談及び支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅療養にかかる相談対応と社会資源の情報提供および導入支援</li> <li>・介護保険の活用のための相談</li> <li>・医療費、療養費等に関する相談</li> <li>・疾患、治療等に関する相談</li> <li>・病状、副作用等に関する相談</li> <li>・緩和ケアに関する相談</li> <li>・医療者及び家族間のコミュニケーションに関する相談</li> <li>・その他、療養上の不安や課題についての相談</li> </ul> </li> <li>■ 外来患者の一般的な医療情報の提供及び支援</li> <li>■ セカンドオピニオン外来診療にかかる相談と受診支援（がん・悲がん）</li> <li>■ アピランスケアに関する相談会の実施（医療用ウィッグ、カバーメイク、ケア）</li> <li>■ 仕事と治療の両立支援、長期療養者の就労支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の就労に関する専門相談会の実施（就職相談：週1回、就労継続相談：月1回）</li> </ul> </li> <li>■ がん患者会なごみの会の実施（月1回）</li> </ul>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

(様式例第19-2) 地域における医療の確保を図るために特に必要であるものとして都道府県知事が定めた事項

都道府県知事が定めた内容
特になし
実施状況

(様式第 20)

その他の地域医療支援病院に求められる取組みに関する書類（任意）

1 病院の機能に関する第三者による評価

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	① 有・無
・評価を行った機関名、評価を受けた時期 機関名 : 公益財団法人 日本医療機能評価機構 認定番号 : JC182-4号 バージョン : 3rdG:Ver. 2.0 認定日 : 2019-04-19 有効期限 : 2024-04-18	

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

2 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	① 有・無
・情報発信の方法、内容等の概要 ・病院ホームページにて院内情報（イベント・講演会・お知らせ等）随時更新を行っている。 ・「好生館だより」年4回発行（病院の活動情報など記載） ・LINEを用いての診療科の案内等の情報発信	

3 退院調整部門

① 退院調整部門の有無	① 有・無
・退院調整部門の概要 各病棟に病棟担当の退院支援看護師を配置し、転院調整等の退院支援を行っている。 入院時に行う退院スクリーニングの結果をもとに、入院3日目に看護師、退院支援看護師、MSWと共に、退院支援カンファレンスを実施し、退院支援計画書を作成している。 退院後の生活を見据え支援を行う目的で、入退院支援センターにてスクリーニングを行い、入院前よりMSWの介入を行っている。	

4 地域連携を促進するための取組み

① 地域連携クリティカルパスの策定	① 有・無
・策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 大腿骨近位部骨折地域連携パス：大腿骨近位部骨折 がん地域連携パス：胃がん・大腸がん・食道がん・肝臓がん・乳がん・肺がん・前立腺がん ・地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み 大腿骨近位部骨折地域連携パスについては、年3回のカンファレンスを行っている。 がん地域連携パスについては、がんパスコーディネーターを中心として、地域医療機関への参加を情報発信している。	

## 佐賀県医療センター好生館共同利用の取扱要領

(平成26年9月1日制定)

この要領は、佐賀県医療センター好生館地域医療支援事業運営規程(平成26年9月1日制定。以下「運営規程」という。)第2条第2号に規定する共同利用を行うための手続き等について定めるものとする。

### 第1 登録手続き等

#### 1 登録手続き

- (1) 運営規程第4条第2項に規定する登録を行おうとする医療機関は、共同利用登録申請書(別記第1号様式)により好生館館長(以下「館長」という。)に申請するものとする。
- (2) 館長は、申請内容を審査し、利用登録を承認した場合は、共同利用登録機関名簿(別記様式第2号)にその登録機関の名称、所在地、共同利用する医師の氏名等を登録するものとする。
- (3) 館長は、共同利用登録医療機関名簿に登録された医療機関(以下「登録医療機関」という。)に対しては登録医療機関証(別記第3号様式)を、医師に対しては登録医証(別記第4号様式)を発行する。

#### 2 登録変更手続き

- (1) 登録医療機関は、登録医を追加する等その内容を変更する場合には、共同利用変更登録申請書(別記第5号様式)を館長に提出するものとする。その際、登録医の取消しが伴う場合は、登録医証を返還しなければならない。
- (2) 前項の変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

#### 3 登録の取消し

- (1) 登録の必要がなくなった登録医療機関は、館長に対しその旨申し出をし、登録医療機関証及び登録医証を返還しなければならない。
- (2) 登録医に医師としての品位を損するような行為等があったときは、館長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師、その他の医療従事者において品位を損するような行為等があったときも同様とする。

### 第2 登録医の遵守事項

- 1 登録医は、患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為に指示は好生館の担当医(以下「担当医」という。)を介して行うものとする。

- 2 患者又は家族への説明は、担当医と協議して行うものとする。
- 3 登録医は、共同利用時に知り得た個人情報をもとに正当な理由なく、第三者に開示、漏洩してはならないものとする。
- 4 登録医が共同利用のため来館する場合は、あらかじめ地域医療連携センターを通して担当医に連絡するものとする。
- 5 登録医が共同利用のため来館したときは、地域医療連携センターで受付し、登録医証を着装するものとする。
- 6 登録医は、館内の諸規則を遵守する。

### 第3 外来・入院診療及び手術への参加手続き

- 1 登録医は、第2に定める事項を遵守するほか、次の各号に該当する場合に限り共同診療及び手術に参加することができる。
  - (1) 登録医が好生館で共同診療及び手術に参加することについて、患者が同意していること。
  - (2) 登録医は、患者の病状に応じて好生館に来館し、患者の状況を把握すること。ただし、手術への参加はこの限りでない。
  - (3) 登録医は、常に好生館からの連絡等が受けられる手段を確保すること。
- 2 登録医の診療時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。ただし、手術への参加は手術の時間内とする。

### 第4 診断機器の利用手続き

- 1 診断機器の利用にあたっては、あらかじめ地域医療連携センターに連絡するものとする。
- 2 診断機器の利用時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。

### 第5 図書室の利用手続き

- 1 図書室の利用のため来館したときは、地域医療連携センターで受付し、登録医療機関証又は登録医証を提示するものとする。
- 2 図書室の利用時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。

附則 この要領は、平成26年9月1日から施行する。

## 佐賀県医療センター好生館共同利用の取扱要領

(平成26年9月1日制定)

この要領は、佐賀県医療センター好生館地域医療支援事業運営規程(平成26年9月1日制定。以下「運営規程」という。)第2条第2号に規定する共同利用を行うための手続き等について定めるものとする。

### 第1 登録手続き等

#### 1 登録手続き

- (1) 運営規程第4条第2項に規定する登録を行おうとする医療機関は、共同利用登録申請書(別記第1号様式)により好生館館長(以下「館長」という。)に申請するものとする。
- (2) 館長は、申請内容を審査し、利用登録を承認した場合は、共同利用登録機関名簿(別記様式第2号)にその登録機関の名称、所在地、共同利用する医師の氏名等を登録するものとする。
- (3) 館長は、共同利用登録医療機関名簿に登録された医療機関(以下「登録医療機関」という。)に対しては登録医療機関証(別記第3号様式)を、医師に対しては登録医証(別記第4号様式)を発行する。

#### 2 登録変更手続き

- (1) 登録医療機関は、登録医を追加する等その内容を変更する場合には、共同利用変更登録申請書(別記第5号様式)を館長に提出するものとする。その際、登録医の取消しが伴う場合は、登録医証を返還しなければならない。
- (2) 前項の変更申請がされた場合の処理については、申請時の場合の処理に準ずる。

#### 3 登録の取消し

- (1) 登録の必要がなくなった登録医療機関は、館長に対しその旨申し出をし、登録医療機関証及び登録医証を返還しなければならない。
- (2) 登録医に医師としての品位を損するような行為等があったときは、館長はその登録を取り消すことができる。看護師、薬剤師、その他の医療従事者において品位を損するような行為等があったときも同様とする。

### 第2 登録医の遵守事項

- 1 登録医は、患者に必要な投薬、検査、処置等の診療行為に指示は好生館の担当医(以下「担当医」という。)を介して行うものとする。

- 2 患者又は家族への説明は、担当医と協議して行うものとする。
- 3 登録医は、共同利用時に知り得た個人情報をもとに正当な理由なく、第三者に開示、漏洩してはならないものとする。
- 4 登録医が共同利用のため来館する場合は、あらかじめ地域医療連携センターを通して担当医に連絡するものとする。
- 5 登録医が共同利用のため来館したときは、地域医療連携センターで受付し、登録医証を着装するものとする。
- 6 登録医は、館内の諸規則を遵守する。

### 第3 外来・入院診療及び手術への参加手続き

- 1 登録医は、第2に定める事項を遵守するほか、次の各号に該当する場合に限り共同診療及び手術に参加することができる。
  - (1) 登録医が好生館で共同診療及び手術に参加することについて、患者が同意していること。
  - (2) 登録医は、患者の病状に応じて好生館に来館し、患者の状況を把握すること。ただし、手術への参加はこの限りでない。
  - (3) 登録医は、常に好生館からの連絡等が受けられる手段を確保すること。
- 2 登録医の診療時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。ただし、手術への参加は手術の時間内とする。

### 第4 診断機器の利用手続き

- 1 診断機器の利用にあたっては、あらかじめ地域医療連携センターに連絡するものとする。
- 2 診断機器の利用時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。

### 第5 図書室の利用手続き

- 1 図書室の利用のため来館したときは、地域医療連携センターで受付し、登録医療機関証又は登録医証を提示するものとする。
- 2 図書室の利用時間は、好生館の休日を除く月曜日から金曜日の午前9時から午後5時までとする。

附則 この要領は、平成26年9月1日から施行する。

## 佐賀県医療センター好生館共同利用登録医

	医療機関名	氏名	医療機関所在地	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
1	佐賀県医療生活協同組合 多久生協クリニック	愛野 浩生	多久市東多久町大字別府3245番地5	内	無
2	医療法人秀裕会 池田内科皮膚科医院	池田 秀夫	佐賀市嘉瀬町扇町2383番地	内	〃
3	医療法人實生会 池田産婦人科	池田 雅彦	佐賀市諸富町諸富津431番地4	産婦・外	〃
4	木村医院	石井 雄二	佐賀市久保泉町下和泉1931番地	内・外・胃	〃
5	小野病院	一ノ宮 美保	佐賀市巨勢町大字牛島244番地7	外科	〃
6	医療法人ひまわり会 ゆめ眼科医院	伊藤 正吾	佐賀市兵庫北5丁目14番1号 ゆめタ	眼科	〃
7	科	稲田 成安	小城市三日町長神田2173番地3	小・アレ	〃
8	医療法人 内田クリニック	内田 敏文	佐賀市高木瀬町大字東高木241-1	胃・内・外・肛	〃
9	医療法人ロメディカル 江口病院	江口 尚久	小城市三日町金田1054番地2	内・胃・循	〃
10	医療法人源勇会 枝園医院	枝園 源一郎	佐賀市川副町早津江265番地	消・内・外	〃
11	医療法人 えとう内科・循環器内科	江頭 泰博	佐賀市神野東4丁目3-19	内・循内	〃
12	医療法人 おおくま産婦人科	大隈 良讓	佐賀市高木瀬西2丁目10番5号	産婦	〃
13	太田医院	太田 昌子	多久市北多久町小侍630番地	内	〃
14	太田医院	太田 正憲	多久市北多久町小侍630番地	小	〃
15	医療法人如春窩会 佐賀クリニック	岡 直剛	佐賀市中央本町2番21号	内・胃・外	〃
16	岸川整形外科	岸川 陽一	佐賀市本庄町本庄862番地1	整・外・リウ	〃
17	医療法人北川整形外科	北川 守	佐賀市川副町鹿ノ江953番地	整・外・リウ	〃
18	医療法人北島整形外科	北島 雅治	佐賀市高木瀬東2丁目15番6号	整・	〃
19	たんぼほクリニック	橘川 桂三	佐賀市若宮1丁目19-29	内・呼・消・胃・小	〃
20	医療法人長晴会木下医院	木下 晴美	佐賀市久保泉町上和泉2201番地	内・小・アレ	〃
21	医療法人 草場整形外科	草場 謙	佐賀市赤松町1番9号	整・リハ	〃
22	佐賀整肢学園こども発達医療センター	窪田 秀明	佐賀市金立町金立2215番地27	整・リハ	〃
23	医療法人双水会熊谷整形外科	熊谷 洋幸	佐賀市本庄町袋275番地1	整・リハ	〃
24	医療法人 栗並医院	栗並 昇	神埼市神崎町枝ヶ里76-1	内・循内	〃
25	医療法人素心庵栗山医院	栗山 一道	佐賀市白山一丁目4番6号	内	〃
26	黒沢内科医院	黒沢 美郎	佐賀市北川副町光法1597番地	内	〃
27	医療法人徹心会この眼科クリニック	河野 さとみ	佐賀市駅前中央一丁目5番10号朝日	眼	〃
28	この医院	河野 哲也	佐賀市兵庫南一丁目12番7号	内・外・消	〃
29	医療法人九曜会 こが内科こどもクリニック	古賀 貴文	佐賀市西与賀町厘外859番地15	内・呼・消	〃
30	医療法人聖母会古賀内科	古賀 聖祥	神埼市千代田町境原282番地2	内・胃・循	〃
31	医療法人九曜会 こが内科こどもクリニック	古賀 聖子	佐賀市西与賀町厘外859番地15	小	〃
32	小森医院	小森 啓範	神埼郡吉野ヶ里町豆田1254番地2	内・小・皮	〃
33	最所医院	最所 正純	神埼郡吉野ヶ里町吉田826番地3	内・外・消	〃
34	斉藤医院	斉藤 明正	佐賀市諸富町大堂214	内・小	〃
35	酒井内科クリニック	酒井 正平	小城市小城町617番地12	内・消・循	〃
36	小野病院	貞苺 潤	佐賀市巨勢町大字牛島244番地7	外科	〃
37	さとうクリニック	佐藤 智文	佐賀市川副町南里372番地1	内・整・外	〃
38	しげた総合診療クリニック	重田 研一郎	佐賀市大和町川上323-1	内・アレ・リウ	〃
39	医療法人正和会 志田内科	志田 正典	佐賀市水ヶ江二丁目7番23号	内・循・胃	〃
40	医療法人 ひらまつ病院	下田悠一郎	小城市小城町815-1	放・消・胃	〃
41	医療法人朝霧会 じんの内医院	陣内 謙一	佐賀市水ヶ江三丁目10番9号	泌・皮	〃
42	陣内胃腸科内科医院	陣内 重信	佐賀市新栄西2丁目1番2号	内・呼・消・胃・循	〃
43	陣内内科・小児科クリニック	陣内 嘉和	佐賀市若宮三丁目5番17	内・小	〃
44	医療法人 せとぐち内科	瀬戸口 洋一	佐賀市久保田町久保田130番地6	内・アレ・リウ	〃
45	医療法人 高橋内科	高橋 明	小城市小城町晴気200番地3	内・小・リハ	〃
46	医療法人安寿会 田中病院	田中 寿人	佐賀市嘉瀬町扇町2344番地16	整・内・神	〃
47	医療法人 千葉内科循環器科	千葉 未知夫	佐賀市天神二丁目3番38号	内・呼・消	〃
48	鶴田内科循環器科医院	鶴田 真	佐賀市川副町小々森960番地7	循・内	〃
49	寺田内科	寺田 洋臣	佐賀市大財一丁目8番30号	内・呼・消	〃
50	内藤医院北山診療所	内藤 博文	佐賀市富士町大野1060番地13	内・外・麻	〃
51	医療法人 中尾医院	中尾 借主	佐賀市中央本町1-22	皮・泌	〃
52	中尾胃腸科医院	中尾 昌功	神埼市神崎町田道ヶ里2284番地1	内・外・胃	〃
53	中下医院	中下 眞二	神埼市千代田町余江128番地	内・呼・胃	〃
54	医療法人なかしま整形外科クリニック	中島 勝也	神埼市神崎町本堀2934番地25	整・リハ	〃
55	医療法人産婦人科 なかなみクリニック	中並 正道	佐賀市木原1-24-38(そいよかね)	産・婦	〃
56	医療法人 中西内科	中西 弘	佐賀市大和町尼寺2257番地8	内	〃
57	医療法人 神埼クリニック	中山 信一	神埼市神崎町田道ヶ里2396番地	内・放	〃
58	医療法人清友会 野口クリニック	野口 清	佐賀市駅前中央二丁目1番1号	精・内	〃
59	医療法人 橋野こどもクリニック	橋野 かの子	佐賀市高木瀬東4丁目14番3号	小	〃
60	あじさいクリニック乳腺外科	瀧本 隆浩	佐賀市駅前1丁目9-38カーニープレ	乳外	〃
61	医療法人六科会 徳富医院	原野 裕子	小城市芦刈町三王崎316番地3	産婦・内	〃
62	ひさのう循環器・内科	久納 隆一	佐賀市鍋島一丁目5番1号	循・内	〃
63	医療法人平林胃腸科外科	平林 雅彦	佐賀市下田町2番23号	外・胃	〃
64	医療法人福翔会 福岡病院	福岡 英信	佐賀市開成六丁目14番10号	消・呼・循	〃
65	福岡内科医院	福岡 和文	神埼市千代田町境原2496番地3	内・呼・消	〃
66	医療法人大和正信会ふじおか病院	藤岡 康彦	佐賀市大和町大字尼寺2685番地	内・外・整	無
67	医療法人聖医会藤川病院	藤川 謙二	佐賀市松原一丁目2番6号	整	〃
68	医療法人 まえだ脳神経外科・眼科クリニック	前田 健二	小城市三日町長神田2173-2	脳外・リハ	〃
69	医療法人前山メディカル 前山医院	前山 英彦	佐賀市川原町5番17号	内・消・胃	〃
70	医療法人牧野医院	牧野 順一	佐賀市日の出一丁目14番26号	泌	〃
71	松永内科医院	松永 千佳	佐賀市高木瀬西一丁目3番25号	内・胃・循	〃
72	松本医院	松本 博	神埼郡吉野ヶ里町三津751番地9	内	〃
73	医療法人 みぞかみ耳鼻咽喉科	溝上 宏幸	佐賀市与賀町4番21号	耳鼻	〃
74	医療法人同愛会 サンテ溝上病院	溝上 泰一朗	佐賀市大財一丁目6番60号	脳外	〃
75	小野病院	溝田 敦子	佐賀市巨勢町大字牛島244番地7	整形外科	〃

	医療機関名	氏名	医療機関所在地	主たる診療科	地域医療支援病院開設者との経営上の関係
76	医療法人 満岡内科クリニック	満岡 聡	佐賀市大和町尼寺848番11号	内	〃
77	みつます耳鼻咽喉科	光増 高夫	神埼郡吉野ヶ里町吉田2906番地1	耳鼻・アレ	〃
78	南医院	南 泰三	神埼市千代田町直鳥808番地1	外・胃・整	〃
79	医療法人 修和会 村岡内科医院	村岡 浩	小城市牛津町牛津734番地1	内・小	〃
80	医療法人 信愛整形外科医院	森永 秀和	佐賀市川原町4番8号	整・リハ	〃
81	医療法人 森永整形外科医院	森永 秀史	佐賀市開成6丁目14-48	整	〃
82	医療法人 森山胃腸科	森山 幹夫	佐賀市諸富町大堂1049番地3	内・小・リハ	〃
83	やさか内科皮膚科	八坂 祥子	佐賀市木原1-24-38(そいよかね内)	内・皮	〃
84	やさか内科皮膚科	八坂 達臣	佐賀市木原1-24-38(そいよかね内)	内	〃
85	クリニック新生	八次 浩幸	佐賀県 佐賀市 新生町 5番15号	外・内・消	〃
86	医療法人 純伸会 矢ヶ部医院	矢ヶ部 伸也	佐賀市木原3丁目2番11号	外・内	〃
87	医療法人 やなぎしまこども医院	柳島 正博	小城市小城町中町549番地1	小	〃
88	山口クリニック	山口 茂	佐賀市鍋島四丁目1番8号	内	〃
89	医療法人 山口内科クリニック	山口 宏和	佐賀市大和町大字久池井987-4	内・心内・アレ・リ	〃
90	小野病院	横須賀 公彦	佐賀市巨勢町大字牛島244番地7	脳神経外科	〃
91	医療法人 洋友会 みやはら・好川総合クリニ	好川 直樹	佐賀市久保田町新田1468	内・整・皮・小	〃
92	ひらまつふれあいクリニック	吉原 幸治郎	佐賀県 神埼郡吉野ヶ里町 吉田 2925	内・消・循	〃
93	特定医療法人 樟風会 早津江病院	米村 智弘	佐賀県 佐賀市 川副町福富 827	外	〃
94	医療法人 力武クリニック	力武 浩	佐賀市開成三丁目5番5号	内・胃・外	〃
95	和田医院	和田 郁子	神埼市千代田町嘉納1319番地18	内・小	〃
96	医療法人 久和会 和田医院	和田 達郎	神埼市神埼町大字神埼293	内・胃・消	〃

注) 当該医療機関と同一の2次医療圏に所在する医療機関のみ記入すること。

常時共同利用可能な病床数	10床
--------------	-----

## 佐賀県医療センター好生館 地域医療研修実施要綱

平成16年8月26日制定

(目的)

第1条 この要綱は、佐賀県医療センター好生館(以下「本院」という。)が地域の医療従事者に対する生涯教育その他の教育、研修(以下「研修等」という。)を適切に行い、その資質の向上を図るために必要な事項を定めるものである。

(研修等の種類)

第2条 研修等の種別は、次のとおりとする。

(1) 職種、部門別専門研修

① 医師の教育・研修

医学講演会、症例検討会、臨床病理検討会(CPC)、医学講習会等

② 看護部門の教育・研修

看護研修会、病棟別症例検討会、看護勉強会等

③ 医療技術部門の教育・研修

ア. 臨床検査部門

生理検査実技講習会、臨床検査部研修会、輸血検査実技講習会等

イ. 放射線部門

画像学習会等

ウ. 薬剤部門

新薬学習会、服薬指導症例検討会、医薬分業研修会、症例別薬剤勉強会等

エ. リハビリテーション部門

心臓リハビリテーション勉強会等

オ. 栄養部門

NST 研究会、糖尿病教室等

カ. MSW、在宅支援担当者

連携強化のためのコミュニケーション・スキルアップ研修会等

(2) 好生館医学会

講演会、研究発表会

(3) 特別研修

人権教育研修、窓口接遇研修、医療・保健・福祉連携勉強会等

(研修計画)

第3条 診療/部門長は、翌年度の研修等の実施計画を定め、毎年1月31日までに研修等の実施計画書(様式第1号)を地域医療研修責任者(以下「研修責任者」という。)に提出しなければならない。ただし、特定の患者の情報交換のための退院前カンファレンス等は除くものとする。

- 2 研修実施計画書には、所属の医師、看護師、薬剤師その他の職員を研修会、講演会(シンポジウム、セミナーの座長等を含む)の講師として派遣するものを含むものとする。

(研修プログラム)

第4条 研修責任者は、診療/部門長から提出のあった研修実施計画書を取りまとめ、翌年度の研修プログラム(以下「研修プログラム」という。)を作成する。

- 2 研修責任者は、研修プログラムの作成にあたっては、地域医療支援病院委員会(以下「委員会」という。)の意見を聴かなければならない。

(実施通知等)

第5条 研修責任者は、年度当初に研修プログラムを地域医療従事者に対する研修に関する規程(平成16年8月26日制定)に定める研修対象者(以下「研修対象者」という。)に通知するものとする。

- 2 研修プログラムに基づき研修を実施する者(以下「研修実施者」という。)は、遅くとも研修実施日の3週間前までに研修対象者に対して、研修案内状(様式第2号)の例により研修の具体的内容等の通知を行うものとする。

(研修受講の申込み)

第6条 研修等の受講を希望する者(以下「研修受講者」という。)は、原則として研修実施日前日までに研修受講申込書(様式第3号)を研修責任者に提出するものとする。

- 2 研修実施者は、研修受講申込者に対し研修受講参加者(様式第4号)の発行、または当日受付で受講申込と照合する等により研修受講状況を確認するものとする。

(受講証明の発行)

第7条 研修責任者は、研修受講者から希望があったときは、研修受講証明書(様式第5号)を発行するものとする。

(実施報告等)

第8条 研修実施者は、研修終了後、速やかに研修実施報告書(様式第6号)を研修責任者へ提出しなければならない。

- 2 研修会、講演会(シンポジウム、セミナーの座長等を含む)の講師として派遣された医師、看護師、薬剤師その他の職員は、研修終了後、速やかに研修講師報告書(様式第7号)を研修責任者へ提出しなければならない。
- 3 研修責任者は、前2項により提出された報告をとりまとめのうえ、年1回委員会へ報告するものとする。

(その他)

第10条 研修責任者は、この要綱を修正または廃止しようとするときは、委員会の意見を聴くものとする。

附 則

この要綱は、平成16年8月26日から施行する。

附 則

この要綱は、平成25年5月7日から施行する。

## 令和5年度

# 地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 地域医療研修報告

令和5年度の地域医療研修プログラムとして、次の研修会・講演会を実施しました。

- 1 地域医療福祉・従事者研修
- 2 地域医療従事者がん診療研修会
- 3 好生館医学会
- 4 病院マネジメント推進会
- 5 連携パス合同カンファレンス
- 6 臨床病理カンファレンス(CPC)

◎令和5年度 地域医療研修プログラム実施状況

1. 地域医療福祉研修会・地域医療従事者研修会

番号	テーマ	開催日
①	<p>地域医療従事者研修会 令和5年度県民公開講座 「学ぼう 活かそう 救急医療」</p> <p>司会 診療統括部長 緒方 伸一 開会挨拶 館長 佐藤 清治</p> <p>講座 8月20日(日)10:00～11:20</p> <p>講演1 「一次救命処置」 南部消防署 消防副士長 金武 慶友 氏</p> <p>講演2 「救急車の適正利用」 南部消防署 消防士 宮城 朱里 氏</p> <p>講演3 「こどもの急病」～こんなときどうする?～ 小児科部長 西村 真二</p> <p>講演4 「救急外来ってどんなところ?」～皆で取り組むチーム医療～ 救急科医療 吉富 有哉 閉会挨拶 理事長 樗木 等</p> <p>放送 佐賀県ケーブルテレビ全11局にて 「救急の日」である9月9日(土)から 1週間放送</p>	<p>講座 8月20日</p> <p>放送 9月9日から 一週間</p>
②	<p>地域医療福祉研修会 第16回 重要被支援者連絡会議 「救急車の頻回利用者の検証・対応について」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関挨拶・紹介</li> <li>・事例紹介</li> <li>・消防署への事前アンケート報告</li> <li>・近隣県の状況</li> <li>・質疑応答</li> </ul>	9月4日
③	<p>地域医療従事者研修会 栄養サポートチーム研修会 「栄養管理と漢方」 鶴岡市立荘内病院 鶴岡市病院事業管理者 八木 実 氏</p>	9月15日
④	<p>地域医療従事者研修会 第11回 全国ID-Link研究会 in 佐賀 「医療情報連携ネットワークがもたらす地域連携の価値 ～これまでも、これからも～」</p>	11月25日

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	看護師	薬剤師	栄養士	検査技師	生士	歯科衛生士	PT・OT・ST	事務	MSW	CM	その他
①	8月20日	0	佐賀県ケーブルテレビ全11局にて放送(会場とのハイブリットで開催)													
②	9月4日	40	11	29	4	5	0	0	0	0	0	0	12	12	2	5
③	9月15日	83	41	42	34	9	15	11	2	0	1	0	0	0	0	11
④	11月25日	140	20	120	45	15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	80

## 2. 地域医療従事者がん診療研修会

番号	テーマ	開催日
①	<p>第73回緩和ケア症例検討会</p> <p>1.「看護小規模多機能型居宅介護で看取った症例」 一般社団法人 居笑 在宅看護センターびりーぶ 看護師 内田 里映</p> <p>2.「ケアに苦慮した聾聵介護の肺癌の1例」 医療法人 満岡内科クリニック 看護師 安藤 美和</p> <p>3.「がん末期患者の療養場所での生命予後」 佐賀県医療センター 好生館 緩和ケア科 部長 小杉 寿文</p> <p>講演方法 Zoomにて開催</p>	6月14日
②	<p>令和5年度 第1回 佐賀県がん診療連携拠点病院 緩和ケア症例検討会 「グループワーク『臨床倫理カンファレンス』」</p> <p>医療法人 満岡内科クリニック 院長 満岡 聡</p>	11月1日
③	<p>令和5年度 第2回 佐賀県がん診療連携拠点病院 緩和ケア症例検討会 「難治性癌性疼痛における神経ブロックの地域連携」</p> <p>佐賀県医療センター 好生館 緩和ケア科 部長 小杉 寿文</p> <p>講演方法 Zoomにて開催</p>	2月14日
④	<p>がん県民公開講座 令和5年度 がん県民公開講座 がん調査隊が行く 肺がんの傾向と対策</p> <p>講演1 肺がん検診 がんセンター長 北原 賢二</p> <p>講演2 気管支鏡検査 呼吸器内科部長 岩永 健太郎</p> <p>講演3 ロボット支援下手術 呼吸器外科部長 武田 雄二</p> <p>講演方法 さがテレビにて放送</p>	3月2日

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	看護師	薬剤師	栄養士	歯科衛生士	ケアマネージャー	介護士	事務	MSW	その他
①	6月14日	59	13	46	4	19	8	0	0	16	2	1	4	5
②	11月1日	34	6	28	4	6	3	0	0	11	0	0	7	3
③	2月14日	51	1	50	9	21	4	0	0	7	0	1	2	7
④	3月2日	0	さがテレビにて放送											

### 3. 好生館医学会

(好生館 多目的ホール 年3回 第3木曜日 17:30~18:30)

#### 年間テーマ「医療DX(2)～慣習・思考・常識の学び直し～」

番号	テーマ	開催日	
①	<p>好生館医学会7月例会</p> <p>1.「?今年度のテーマについて～アンラーンをラーンする!??～」</p> <p>2.「学びとは何か」「リスクリングは経営課題」を読む</p> <p>3.「好生館の資産管理について」</p> <p>4.「絞扼性腸閉塞に続発した非閉塞性腸間膜虚血の一例」</p>	<p>好生館医学会準備委員会 委員長 田中 聡也</p> <p>座長 外科系統括診療部長 田中 聡也 Medical Link Office Director 松石 英城</p> <p>座長 財務課 課長補佐 宮口 あや 財務課 契約係 藤松 祐輔</p> <p>座長 外科系統括診療部長 田中 聡也 初期臨床研修医 吉良 裕希</p>	7月20日
②	<p>好生館医学会9月例会</p> <p>1.「医事課のDX」</p> <p>2.「情報共有の医療DX化に向けて」</p> <p>3.「バイタルサイン入力遅延時間短縮を目指したICT利活用推進」</p> <p>4.「V-A ECMO 駆動中にHITを発症した1例」</p>	<p>座長 事務部 副事務部長 岡田 俊 医事課 課長補佐 馬場 俊彰</p> <p>座長 相談支援センター長 松本 健一 相談支援センター MSW 細川 萌</p> <p>座長 看護部 教育センター看護師長 金原 直美 看護部 8階東病棟 副看護師長 横田 友美</p> <p>座長 集中治療部 部長 三溝 慎次 臨床研修医 中村 和樹</p>	9月21日
③	<p>特別講演</p> <p>「医療DX」</p> <p>地域医療連携システムの現在と未来</p>	<p>座長 好生館医学会準備委員会委員長 田中 聡也 講師 株式会社エスイーシー取締役 伊藤 龍史 先生</p>	10月20日
④	<p>好生館医学会11月例会</p> <p>1.「放射線画像診断におけるAI技術の活用」</p> <p>2.「栄養管理部業務改善への取り組み」</p> <p>3.「免疫染色での原発巣、組織型検索のための新たな抗体の探索」</p> <p>4.「ACTH単独欠損症により切迫心停止に至った一例」</p>	<p>座長 放射線部 副放射線技師長 三井 宏太 放射線部 技師 中野 竣</p> <p>座長 栄養管理部 栄養管理長 小根森 智子 栄養管理部 管理栄養士 中島 美保子</p> <p>座長 病理部 部長 森 大輔 病理部 医長 増田 正憲</p> <p>座長 糖尿病代謝内科 部長 吉村 達 臨床研修医 山本 雪子</p>	11月16日

番号	テーマ	開催日
⑤	<p>好生館医学会1月例会</p> <p>1.「リハビリテーション分野における医療DXの紹介と当館での取組」 座長 リハビリテーションセンター リハビリ技士長 市丸 勝昭 リハビリテーションセンター 理学療法士 福岡 秀生</p> <p>2.「医療機器操作におけるMEセンターの取り組み」 ～動画マニュアル作成に向けて～ 座長 MEセンター長 里 学 MEセンター 副主任臨床工学技士 園 悠輔</p> <p>3.医科研究助成 「急性下部消化管出血の予後予測スコア」 ～他施設共同研究 CODE BLUE J-Study～ 座長 消化器内科 部長 緒方 伸一 消化器内科 医長 富永 直之</p> <p>4.「倉庫内で意識障害を生じた55歳女性」 ～状況聴取が診断に寄与した一例～ 座長 救急科 医長 甘利 香織 臨床研修医 宇野 純加</p>	1月18日
⑥	<p>第32回 好正館医学会総会 9:00～12:30</p> <p>&lt;プログラム&gt;</p> <p>1.開会挨拶 9:00</p> <p>2.一般演題 9:05 (1)「研修を終えるにあたって」 臨床研修医 池田 奈瑚</p> <p>(2)「高難度急性胆嚢炎手術に関する術前因子の検討」 ～安全な腹腔鏡下胆嚢摘出手術を施行するために～ 消化器外科医長 江川 紀幸</p> <p>(3)「カルナコネクの推進の取組と成果」 ～WIN-WIN-WINの結果をもたらすために～ 広報課 マーケティング係 真子 歩都</p> <p>(4)「検体検査におけるパニック値報告体制の再構築と検証」 検査部 萩尾 修平</p> <p>(5)「プロトコルに基づく薬物治療管理(PBPM)の取り組み」 薬剤部 岩本 夢実</p> <p>3.特別講演 10:30 「内視鏡AIを上手く活用するには」 独立行政法人国立病院機構嬉野医療センター 消化器内科医長 山口 太輔</p> <p>4.能登半島地震 DMAT 活動報告 11:25 DMAT 派遣概要 DMAT Aチーム報告 DMAT Bチーム報告 ロジスティックチーム報告 災害対策室/救急科 医長 小山 敬 救急科 医長 松本 康 / ICU 看護師 田中 由美 医療情報係長 中山 佳郎 / 救急科 救急救命士 原口 良介 総務課 庶務係 末安 正洋</p> <p>5.好生館 館長 退任挨拶 館長 佐藤 清治</p> <p>6.理事長挨拶 理事長 樗木 等</p>	3月16日

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	看護師	助産師	薬剤師	栄養士	放射線技師	検査技師	学臨床理工	PT・OT・ST	事務	MSW	その他
①	7月20日	75	75	0	20	10	5	5	3	6	0	5	20	1	0	
②	9月21日	55	55	0	11	13	3	0	3	9	0	1	14	1	0	
③	10月20日	56	56	0	10	10	7	0	1	3	0	7	18	0	0	
④	11月16日	51	51	0	16	6	1	1	1	0	3	2	20	0	1	
⑤	1月18日	47	47	0	14	13	0	0	0	1	1	10	7	0	1	
⑥	3月16日	62	62	0	19	15	5	2	1	6	0	0	14	0	0	

#### 4. 病院マネジメント推進会 (好生館多目的ホール 原則、毎月第1木曜日 16:30～17:15)

(年4回は医療安全研修会と合同開催)

番号	テーマ	開催日	
①	<p>第192回病院マネジメント推進会</p> <p>〈保険診療研修会〉</p> <p>「保険診療の理解のために」</p>	<p>〔講師〕佐賀県指導監査専門医 林田 潔 先生</p> <p>〔座長〕副館長 前 隆男</p>	4月13日
②	<p>第193回病院マネジメント推進会</p> <p>〈メンタルヘルス・ハラスメント研修会〉</p> <p>「快適な職場環境づくりのためのアサーティブコミュニケーションについて」</p>	<p>〔座長〕副館長 前 隆男</p> <p>〔講師〕佐賀産業保健総合支援センター メンタルヘルス促進員 家永 佐知子 先生</p>	5月12日
③	<p>第194回病院マネジメント推進会</p> <p>〈医療安全研修会〉</p> <p>「取り扱いに注意が必要な医薬品について」</p> <p>「医療機器の安全使用について」</p> <p>〈院内感染対策研修会〉</p> <p>「みんなで取り組もう薬剤耐性問題」</p> <p>「今日からはじめるゴミの分別—分別を怠ると懲役刑や罰金?!—」</p>	<p>〔座長〕 医療安全管理部 副部長 武田 雄二</p> <p>〔講師〕 薬剤部部長 (医薬品安全管理責任者) 草葉 一友</p> <p>〔講師〕 MBセンター臨床工学技士 三好夏喜</p> <p>〔座長〕 感染制御部部長 福岡 麻美</p> <p>〔講師〕 検査部・ICT・AST 田中康弘 検査部 細菌検査室 副主任技師 佐野由佳鯉</p> <p>〔講師〕 感染制御部 専従看護師 山口文美</p>	6月1日
④	<p>第195回病院マネジメント推進会</p> <p>〈災害対策研修会〉</p> <p>好生館BCP&amp;災害対策マニュアル改訂の要点と、 本年度災害訓練の概要説明</p> <p>トルコ大地震被害に対する国際緊急援助隊医療チームの支援に参加して</p>	<p>〔座長〕 救急科 部長 岩村高志</p> <p>〔講師〕災害対策室 室長 小山敬</p> <p>〔講師〕整形外科医長 塚本伸章</p>	7月6日
⑤	<p>特別企画セミナー</p> <p>当院のDPCへの取り組み</p>	<p>〔講師〕西崎 隆 先生 松山赤十字病院 院長</p>	7月12日

番号	テーマ	開催日
⑥	<p>第196回病院マネジメント推進会</p> <p>〈保険診療認知症ケア研修会〉</p> <p>・保険診療研修会 保険診療の理解のために</p> <p>・認知症ケア研修会 変わります!認知症ケア加算</p> <p>[座長]消化器外科部長/ 保険診療委員会委員長 田中聡也</p> <p>[講師]中原大貴</p> <p>[座長]精神科部長 石井博修</p> <p>[講師]外来副看護師長/ 認知症看護認定看護師 林田佳奈</p>	9月14日
⑦	<p>第197回病院マネジメント推進会</p> <p>〈院内感染対策・医療安全研修会〉</p> <p>「院内感染対策研修会」</p> <p>①抗菌薬適性使用の基本となる微生物検査について知っておいてほしいこと」</p> <p>②手指衛生はなぜ重要か</p> <p>「医療安全研修会」</p> <p>「放射線の安全利用について」</p> <p>[座長]検査部細菌検査 副主任技師 佐野 由佳里</p> <p>[講師]感染制御部 部長 福岡 麻美</p> <p>[講師]感染制御部 看護師 山口 文美</p> <p>[座長]副館長 相部 仁</p> <p>[講師]放射線部 副主任技師 江口 寛晃</p>	11月2日
⑧	<p>特別企画セミナー</p> <p>サイバーセキュリティ対策について</p> <p>[講師]脇元 直彦 先生 徳島大学病院 事務部長</p>	11月8日
⑨	<p>第198回病院マネジメント推進会</p> <p>〈医療コミュニケーション×褥瘡研修会〉</p> <p>【医療コミュニケーション研修会】</p> <p>「こうすればもっと佳くなる好生館」</p> <p>～入院患者満足度アンケート調査の自由意見から見えたヒント～</p> <p>〈褥瘡研修会〉</p> <p>「今一度床ずれについて考えてみよう。」</p> <p>～床ずれをつくらない療養環境を提供しましょう～</p> <p>[座長]看護部長(委員長)宮地 由美子</p> <p>[講師]外来看護師長 石橋 はるみ</p> <p>[座長]形成外 部長 原田 慶美</p> <p>[講師]皮膚・排泄ケア認定看護師 俵 麻美</p>	12月7日

番号	テーマ	開催日	
⑩	<p>第199回病院マネジメント推進会</p> <p>医療安全研修会</p> <p>①輸血マニュアル・輸血拒否患者マニュアル等について</p> <p>②輸血関連インシデントから考えるダブルチェックの重要性</p> <p>③医療安全文化調査について</p>	<p>[座長]医療安全管理部 副部長 武田 雄二</p> <p>[講師]血液内科 輸血部長 飯野 忠史</p> <p>[講師]検査部 輸血・検査技師 吉田 剛士</p> <p>[講師]副館長/医療安全管理部長 内藤 光三</p>	1月4日
⑪	<p>第200回病院マネジメント推進会</p> <p>医療倫理研修会</p> <p>医療倫理とは</p> <p>～症例から学べること～</p>	<p>[座長]救命救急センター医長 兼 総合教育研修センター 副センター長 甘利 香織</p> <p>[講師]佐賀大学医学部 地域医療科学教育研究センター 准教授 坂本 麻衣子</p>	2月1日

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	看護師	薬剤師	栄養士	検査技師	MSW	事務	その他
①	4月13日	64	64	0	21	22	1	0	1	1	15	3
②	5月12日	30	30	0	7	12	0	0	1	0	10	0
③	6月1日	71	71	0	15	22	7	1	3	4	14	5
④	7月6日	77	77	0	17	20	3	2	3	0	16	16
⑤	7月12日	90	83	7	18	21	4	0	4	4	33	6
⑥	9月14日	75	75	0	16	19	2	0	2	2	32	2
⑦	11月2日	66	66	0	20	21	2	0	4	1	15	3
⑧	11月8日	81	81	0	15	21	3	1	1	2	32	6
⑨	12月7日	58	58	0	5	42	0	0	1	0	5	5
⑩	1月4日	48	48	0	16	20	1	0	6	0	3	2
⑪	2月1日	39	39	0	12	17	0	0	0	1	7	2

## 5. 連携パス合同カンファレンス

番号	テーマ	開催日	
①	<p>大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス</p> <p>【議題】</p> <p>1.令和4年度 管理病院の運営状況報告            ・佐賀県医療センター好生館            ・JCHO佐賀中部病院            ・NHO佐賀病院            (質疑応答)</p> <p>2.「大腿骨地域連携パス」と「骨粗鬆症パス」の融合について            現在の問題点            癒合することによるメリット</p>	4月26日	
②	<p>脳卒中・地域連携パス合同カンファレンス</p> <p>【議題】</p> <p>1.好生館のコロナ禍及び5類感染移行後の脳卒中診療について            ・佐賀県医療センター好生館</p> <p>2.好生館における脳卒中患者への摂食機能療法について            ・佐賀県医療センター好生館</p> <p>3.サンテ溝上病院における脳卒中診療について            ・サンテ溝上病院</p>	<p>佐賀県医療センター 好生館            脳卒中センター 高島 洋            佐賀県医療センター 好生館            リハビリテーション科 山之内 直也            サンテ溝上病院            脳血管内科 上床 武史</p>	7月26日
③	<p>大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス</p> <p>【議題】</p> <p>1.令和5年4月～7月 管理病院の運営状況報告            ・佐賀県医療センター好生館            ・JCHO佐賀中部病院            ・NHO佐賀病院</p> <p>2.ディスカッションテーマ            ～大腿骨近位部骨折の地域連携パスにおける、各専門職の役割について</p>	8月30日	
④	<p>大腿骨近位部骨折地域連携パス合同カンファレンス</p> <p>【議題】</p> <p>1.令和5年8月～11月 管理病院の運営状況報告            ・佐賀県医療センター好生館            ・JCHO佐賀中部病院            ・NHO佐賀病院</p> <p>2.質疑応答            3.事例報告およびグループワーク</p>	12月20日	

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	看護師	PT・OT・ST	MSW	その他
①	4月26日	96	21	75	25	27	24	16	4
②	7月26日	94	22	72	10	21	49	13	1
③	8月30日	88	22	66	19	25	27	11	6
④	12月20日	76	8	68	12	22	29	12	1

6. 臨床病理カンファレンス (好生館多目的ホール 毎月第3水曜日 17:30～)

番号	開催日	出席者数	院内	院外	医師	検査技師	その他
①	5月24日	<b>26</b>	<b>23</b>	<b>3</b>	18	4	4
②	6月21日	<b>37</b>	<b>34</b>	<b>3</b>	28	8	1
③	7月19日	<b>25</b>	<b>22</b>	<b>3</b>	20	4	1
④	9月20日	<b>27</b>	<b>25</b>	<b>2</b>	22	4	1
⑤	10月18日	<b>18</b>	<b>16</b>	<b>2</b>	14	3	1
⑥	11月22日	<b>16</b>	<b>15</b>	<b>1</b>	8	7	1
⑦	12月19日	<b>25</b>	<b>24</b>	<b>1</b>	17	7	1
⑧	2月21日	<b>21</b>	<b>20</b>	<b>1</b>	17	4	0
⑨	3月13日	<b>17</b>	<b>14</b>	<b>3</b>	12	4	1